国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Press Release

いのちとくらしをまもる
防　災　減　災

震 災 復 興
進もう！次の東北へ

令 和 ４ 年 ７ 月 １ ５ 日
震災伝承ネットワーク協議会

第９回震災伝承ネットワーク協議会を開催します

「震災伝承施設」の追加登録や震災伝承ネットワーク協議会が取り組む内容などの議論を行うため、東北地方整備局、青森県、岩手県、宮城県、福島県、仙台市ならびに復興庁による震災伝承ネットワーク協議会を開催します。

１．開催概要

日時：令和４年７月２０日（水）　11:00～12:00
場所：東北地方整備局 12 階 災害対策室
宮城県仙台市青葉区本町３丁目３番１号　仙台合同庁舎Ｂ棟
形式：Ｗｅｂ会議

２．主な議題

（１）「震災伝承施設」の追加登録について
（２） ピクトグラム案内標識整備計画について

３．その他

・受付は 10 時 00 分から行います。
・本協議会は、報道関係者を対象に公開しますが、カメラ撮りは会議冒頭のあいさつまでとします。
・取材の際は、各自でマスク着用のうえお越しください。また、会場での検温・消毒にご協力をお願いします。

【発表記者会】青森県政記者会、岩手県政記者クラブ、宮城県政記者会、福島県政記者クラブ、
東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

【 問合せ先 】
震災伝承ネットワーク協議会事務局（国土交通省東北地方整備局企画部）
震災伝承推進官　増澤（ますざわ）　亨（とおる）　（内線3119）
企画課　建設専門官　高橋（たかはし）　孝義（たかよし）（内線3158）
代表電話：022-225-2171　FAX：022-221-9890

震災の教訓を伝える震災遺構等

津波遺構　たろう観光ホテル（岩手県宮古市）



4階まで浸水、2階までは柱を残し流失。
館内では、震災当日に同ホテルで撮影された津波の映像も視聴可能。

奇跡の一本松（岩手県陸前高田市）



＜震災前の高田松原＞



「名勝　高田松原」は、江戸時代（約350年前）から白砂青松の景観。（約7万本の松林）
大津波に唯一耐え残った松が「奇跡の一本松」として復興のシンボルに。

震災遺構 仙台市立荒浜（あらはま）小学校（宮城県仙台市）



＜1階廊下＞



震災当時は、児童や教職員、住民ら320人が避難し、2階まで浸水。
防災・減災の取り組み、模型などによる震災前の町並みも体験可能。

津波の石碑（岩手県釜石市両石（りょういし）町）



＜東日本大震災では
ガレキに埋もれる＞



津波の惨禍を繰り返さないために先人が残したメッセージ（石碑）
中央と右側の2基は明治29年、左の1基は昭和8年の碑。

震災伝承を継続するための取り組みへのプロセス

2018年7月　震災伝承ネットワーク協議会（発足）

構成：東北地方整備局、青森県・岩手県・
宮城県・福島県・仙台市

官による連携組織立ち上げ
（県際を越え）

↓

2019年1月　復興加速化会議

構成：国土交通大臣
岩手県・宮城県・福島県・仙台市の長

『3．11伝承ロード』の推進を宣言



↓

2019年3月　震災伝承検討会〈提言〉

構成：学識者、民間業団体、自治体の長

「産・学・官・民」連携組織を進言



↓

2019年8月　（一財）3.11伝承ロード推進機構　発足

構成：学識者(4)、民間の業団体(6)
東北地方自治体の長(7)

一般財団法人
3．11伝承ロード推進機構

産・学・官・民
の共通目標

「3.11伝承ロード」形成を目指して

「3．11伝承ロード」の形成

「3．11伝承ロード」とは

東日本大震災の被災地には、被害の実情や教訓を伝える「震災伝承施設」が数多くある

「3．11伝承ロード」とは、これらの施設をネットワーク化し、防災に関する「学び」や「備え」を国内外に発信することで震災を風化させず、後世に伝え続けていく取り組みのこと

多様な方を誘う機会を創出

防災専門家、学術・研究機関、修学・学習、自治体関係者、業界関係者、一般の方など

目標

①防災力の向上（教訓の伝承）

②地域の活性化（学びの対流）

震災伝承ネットワーク協議会
→https://www.thr.mlit.go.jp/shinsaidensho/



（※主な震災伝承施設）

「3．11伝承ロード」における具体的な取組方針

○産学官の連携により、震災伝承をネットワーク化しつつ、被災地の交流促進や地域創生、防災力の強化を図る。

1．震災伝承ネットワークの運営・3．11伝承ロード形成

#1　震災伝承施設の公募・分類・管理・広報
#2　3．11伝承ロードの形成
#3　震災伝承施設における連携事業の推進

震災伝承施設の募集

■募集対象：東日本大震災に関わる遺構、慰霊碑、モニュメント等の施設

標章（ピクトグラム）



▲設置されたピクト入り案内看板



▲パンフレットによる広報

2．防災プログラムの基盤形成と開発

#4　伝承すべき技術や震災伝承施設等のアーカイブ化
#5　地域に対する防災教育プログラムの提供
（学校、自治体、企業等向け）
#6　官民連携における復旧活動の可視化



▲映像アーカイブ
（例：震災で活躍した建設業）



▲教訓を伝える授業
（中学・高校での防災教育）



▲経済界と連携した
復旧活動のパネル展

3．復興に向けた地方創生・地元支援

#7　地方活性化コンサルティング事業
#8　一般向けツーリズムのツアー化企画
#9　国内カンファレンス、国際会議等の開催や支援



▲伝承施設入りイラストマップ
（地域観光パンフに活用）



▲国・自治体・観光業界との連携



▲ぼうさい国体in釜石
（震災伝承のパネル出展）

震災伝承施設の登録状況

国土交通省

【登録施設】
全302施設
（2022年3月末時点）

	施設数（件）	第1分類	第2分類	第3分類
青森県	8	4	3	1
岩手県	119	71	30	18
宮城県	134	73	34	27
福島県	41	5	23	13
合計	302	153	90	59

「震災伝承施設」の登録は、3つで分類



第1分類　★☆☆

・震災伝承に関する施設



第2分類　★★☆

第1分類の条件を満たし、
・訪問者が利用できる十分な駐車場を有する
・公共交通機関の利便性が良い



第3分類　★★★

第2分類の条件を満たし、
・案内員の配置や語り部活動が行われている
・多言語対応や映像上映による展示

（別添）

第9回　震災伝承ネットワーク協議会
取　材　登　録　書

取材を希望される方は、事前にメールにてご登録をお願いします。

メール送信期限：**令和4年7月19日（火）12：00まで**

メール送信先：東北地方整備局　企画部　企画課

メールアドレス：thr-densho@mlit.go.jp

◆報道機関名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
◆取材者 1）代表者＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 2）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 3）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
◆連絡先（代表者の連絡先） ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

【備考】

上記の「◆連絡先（代表者の連絡先）」には、取材当日に連絡可能な携帯電話等の連絡先を記入して下さい。

駐車場につきましては、一般の駐車場などを事前にご確認の上、お越し下さい。

【新型コロナウイルス感染拡大防止のため下記事項についてご協力をお願いします】

・取材は各社につき最少人数でお願いします。
・飛沫拡散防止のため取材中は、マスク着用にご協力をお願いします。
・咳などの風邪症状、発熱等、体調不良のある方は、参加をご遠慮 ください。
・うがい、手洗い・手指のアルコール消毒にご協力をお願いします。

【問い合わせ先】
・東北地方整備局　企画部　企画課　建設専門官　高橋
電話：022-225-2171（内線3158）